



## 「飼葉桶のキリスト」(要旨) 聖書箇所：ルカの福音書 2 章1~7節

### 【1】キリストの誕生

福音書の記者ルカは、神の子の誕生を次のように記しました。「男子の初子を産んだ。そして、その子を布にくるんで飼葉桶に寝かせた。」(ルカ 2:7)

誰がどう見ても神の子の誕生にはそぐわない場所でした。王宮のベッドがふさわしい方が「飼葉桶」に寝かせられたのですから。そうなった理由は、「宿屋には彼らのいる場所がなかったから」(2:7)でした。聖書は、このことを通して、イエスがどのような救い主であるかを私たちに伝えます。

### 【2】キリストは貧しい者となられた

使徒パウロはキリストを次のように紹介しました。「あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者となるためです。」(Ⅱコリント 8:9)

飼葉桶は「貧しくなられた」キリストを象徴します。ヨセフとマリヤが社会的にも知られ名の通る有力者であれば、家畜小屋は宿泊の場とならなかったでしょう。

▷イエスは、最も地位の高い身分としてお生まれになりませんでした。大工と若い女性のところに限りなく貧しい者としてお生まれになりました。

### 【3】キリストはへりくだった者となられた

かつて預言者イザヤは、「わたしは、高く聖なる所に住み、砕かれた人、へりくだった人とともに住む。へりくだった人たちの霊を生かし、砕かれた人たちの心を生かすためである」(イザヤ 57:15) と伝えました。何

かの重荷や逆境によって「砕かれた人」。自己やこの世の評価において低くされた「へりくだった人」。神はそうした状態にある人たちの「霊」も「心」も生かしてくださると言うのです。一方、その反対に居るのが「高ぶる者」です。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与える。」(ヤコブ 4:6)

最初の人の墮落と不従順は、神のようになりたいという「高ぶり」によって引き起こされました。「それを食べるそのとき、目が開かれて、あなたがたが神のようになって善悪を知る者となることを、神は知っているのです。」(創世記 3:5)

それに対して、キリストは誰よりもへりくだった者となられました。「キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。」(ピリピ 2:6-8)

飼葉桶のキリストは、全人類の救いのために貧しくへりくだられた方の誕生をあらわします。キリストは、貧しい者やへりくだった者が訪れることのできる場所にお生まれになりました。

イエスをみごもったマリアは次のように賛美しました。「主のあわれみは、代々にわたって主を恐れる者に及びます」(ルカ 1:50)

▷あなたも飼葉桶のキリストを心にお迎えしませんか。

